

「わたしたちの暮らしとパッケージ」

～「プラっとサーチ」を使って、環境への取組を知ろう！～

■日時：10月30日(木) 14:00～14:45

■学校：学校法人 自由学園

■対象：4年生 1クラス 計31名

■プラっと探検隊：6名

(株)エフピコ、TOPPAN(株)、日鉄リサイクル(株)、マルハニチロ(株)、山崎製パン(株)

運営スタッフ：大日本印刷(株)、(有)ラウンドテーブル、プラ推進協事務局



はじめまして！ 私たちはプラっと探検隊です

自由学園の児童たちはとても活発で、最初の隊員自己紹介から「その会社、知っている！」「その商品いつも食べている！」と喜んでくれました。食品メーカーだからよく知っているのかと思ったのですが、日鉄リサイクル(株)の隊員の時は最も歓声が大きくて、隊員の方が驚きました。(株)エフピコについては、さすがに社名だけではわからなかったのですが、「スーパーでお刺身やお肉を入れて売っているトレイという容器を作っている会社です」と説明すると、一斉に「へえーっ！すごーい！」とわかってもらえて、隊員もほっとしていました。一気に児童たちとの距離が縮まって、楽しく授業を進めることができました。

日本で一年間に何万トンのパッケージが捨てられていると思いますか？

クイズに対し、児童たちは一斉に手を挙げ、「1万t」「10万t」「100万t」と次々に大きな数字を挙げていきました。「正解は、400万tです」の答えに、皆、驚いていました。授業後のアンケートにも「400万tものプラスチックのパッケージが捨てられているなんて、初めて知り、驚いた」との感想が多数ありました。自分たちが大きいと思う数値よりも多い量だったことが印象的だったのでしょうか。さらに、「このままにしておくと、後悔することになるから、自分たちでも環境にやさしいことをしたい」とアンケートに書いた児童もいて、授業をやってよかったと隊員たちは達成感を感じました。



環境に配慮しているパッケージはどれ？

隊員の所属の企業の商品パッケージや食品トレーを配布して、「これらの中で環境に配慮した工夫をしているパッケージはどれでしょう？」というクイズを出しました。見たことがある、食べたことがある食品をみて、児童たちの関心がさらに高まりました。一所懸命考えて、正解と思う商品に手を挙げていました。

「正解は全部です！」の回答に、皆、大歓声。

続いて、具体的にどこをどのように環境にやさしい工夫をしているかを説明しました。児童たちはいつも食べている食べ物のパッケージが工夫されていることに驚き、授業後のアンケートには「これからは『これが工夫されているのかな』と気にしながら食べたいです」「最近料理をするようになったので、特に気にしたいです」と感想を書いてくれていました。



プラっとサーチを使って調べてみよう！

児童たちと隊員たちは少人数のグループに分かれ、「プラっとサーチ」を使って、様々な商品のパッケージの環境に対する工夫を調べました。各グループに配布したパッケージサンプルや食べたことがある、あるいは好きな商品を検索し、どのような環境にやさしい工夫をされているかを調べました。また、好きな商品や工夫を知って驚いた商品に「いいね！」を押しました。

好きな商品の名前がわからなかったり、たとえばチョコレートと入力しても好きな商品がヒットしなかったりなど、検索で少々手間取っていた児童もいましたが、授業後のアンケートを見ると、「プラっとサーチを知らなかったが、とても面白かった」「たくさんの商品があって、色々な工夫をされていることがわかって面白い」「これからも検索したい」とプラっとサーチに対して、とても強く興味を持ったことがわかりました。児童たちにとっては、ネット検索は当たり前の時代なのだと、アナログ世代のスタッフは今更ながらに感心しました。



自分たちでも環境にやさしいことができる！

児童たちはとても積極的で、講師の説明の一つ一つに歓声を上げて反応していました。グループワークでも隊員に積極的に質問していました。その反応の大きさに隊員たちは「どのように伝わったのだろう」と心配と期待を持ちましたが、授業後のアンケートを見て、児童たちが「驚き」をもって「自分ごと」として考えてくれていることにとても感心しました。

「知っている商品が環境にやさしい工夫をしていることを知らなかったのでびっくりした」

「商品の一部を減らしただけでプラスチックのゴミが少なくなったことがすごいと思った」

「ごみを分別すると良いことがおきるということがわかりました」

「環境によいことを自分たちにもできるということに驚いた」

「これからもプラっとサーチを使ってみたいと思ったのは、環境にやさしい工夫がたくさん載っていて面白く、自分でも環境にやさしいことをしたいと思ったから」

など、初めて知ったことに驚いて、環境にやさしい行動を自分たちにもできることに気がついてくれたことが、今回の授業の最大の収穫です。

自由学園の先生や児童の皆様に感謝申し上げます。